様式

専任を要する主任技術者の兼務届出書

令和　　年　　月　　日

（あて先）登　米　市　長

　　　　　　　　　　　　　　　住所

商号又は名称

代表者氏名　　　　　　　　　　　　　印

　入札公告等に示された条件に従い、○○○○工事の現場に配置する専任を要する主任技術者について、下記の工事を兼務させるので届け出ます。

記

１　兼務する工事

|  |  |
| --- | --- |
| 発注者 |  |
| 工事番号 |  |
| 工事名 |  |
| 工期 | 　令和　　年　　月　　日から令和　　年　　月　　日まで |
| 施工場所 |  |
| 請負金額 | 　　　　　　　　　　　　　　　　円 |

注　(1) 専任を要する監理技術者については他の工事を兼務できない。

　　(2) 応札する工事又は兼務する工事において、受注者の責によらないやむを得ない事由により、専任を要する監理技術者への途中変更が必要となった場合は、応札する工事における技術者の途中交代を認める。

　　　　ただし、この場合においても、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保される等、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

２　兼務箇所図

|  |
| --- |
|  |

注　(1) 管内図等を使用し、枠内に落札候補の工事と兼務する工事の箇所を記載するとともに、相互を連絡する自動車で通行可能な経路を記載し、経路距離を明記すること。

　　(2) 契約締結予定の工事と兼務する工事が同一箇所である場合は、管内図等を使用せず枠内に「同一箇所における兼務」と記載することで足りるものとする。